

平成26年11月期経営状況概要

(単位：千円)

項目	予算額+繰越	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	支出負担行為	対予算比
8. 水道事業収益	2,658,966	192,755	1,579,277	59.4%	1,079,689		
1. 営業収益	2,309,761	189,821	1,554,537	67.3%	755,224		
1. 給水収益	2,280,090	189,222	1,548,364	67.9%	731,726		
2. 受託工事収益	0	0	0		0		
3. その他営業収益	29,671	599	6,173	20.8%	23,498		
2. 営業外収益	348,350	2,932	23,989	6.9%	324,361		
3. 特別利益	855	3	750	87.8%	105		
9. 水道事業費用	2,803,737	64,670	1,037,552	37.0%	1,766,185	1,241,766	44.3%
1. 営業費用	2,104,212	64,599	516,537	24.5%	1,587,675	720,381	34.2%
1. 原水及び浄水費	459,618	24,381	207,165	45.1%	252,453	284,250	61.8%
2. 配水費	277,677	14,507	120,340	43.3%	157,337	168,989	60.9%
3. 給水費	105,297	9,645	56,256	53.4%	49,041	67,200	63.8%
4. 受託工事費	0	0	0		0	0	#DIV/0!
5. 業務費	119,389	9,325	68,753	57.6%	50,636	110,974	93.0%
6. 総係費	144,309	6,740	64,024	44.4%	80,285	88,969	61.7%
8. 減価償却費	955,368	0	0	0.0%	955,368	0	0.0%
9. 資産減耗費	42,554	0	0	0.0%	42,554	0	0.0%
10. その他営業費用	0	0	0		0	0	#DIV/0!
2. 営業外費用	285,571	0	128,092	44.9%	157,479	128,092	44.9%
3. 特別損失	393,954	71	392,923	99.7%	1,031	393,292	99.8%
4. 予備費	20,000	0	0		20,000	0	
10. 資本的収入	1,674,270	29,562	130,248	7.8%	1,544,022		
1. 企業債	951,100	0	21,000	2.2%	930,100		
2. 負担金・補償金	216,665	28,223	60,639	28.0%	156,026		
3. 補助金	193,678	0	19,124	9.9%	174,554		
4. 出資金	298,496	0	17,680	5.9%	280,816		
5. 加入金	14,331	1,339	11,804	82.4%	2,527		
9. その他資本的収入	0	0	0		0		
11. 資本的支出	2,703,401	65,412	674,314	24.9%	2,029,087	1,408,474	52.1%
1. 建設改良費	2,092,702	65,412	371,076	17.7%	1,721,626	1,408,474	67.3%
1. 取水施設整備費	231,341	0	59,673	25.8%	171,668	139,969	60.5%
2. 浄水施設整備費	165,929	8,532	12,946	7.8%	152,983	156,090	94.1%
3. 配給水施設整備費	1,692,472	56,880	298,457	17.6%	1,394,015	1,110,849	65.6%
6. 管理施設整備費	0	0	0		0	0	#DIV/0!
7. 消防設備整備費	2,960	0	0	0.0%	2,960	1,566	52.9%
8. 災害復旧費	0	0	0		0	0	#DIV/0!
2. 企業債償還金	610,699	0	303,238	49.7%	307,461		0.0%
12. たな卸し資産購入限度額	37,513	1,707	24,404	65.1%	13,109		0.0%
①有収水量	8,147,300	670,820	5,513,733	67.7%	2,633,567		
②供給単価	279.86	282.08	280.82	100.3%	△ 0.96		
③給水原価	258.40	96.30	116.91	45.2%	141.49		
人件費	229,544	15,234	139,310	60.7%	90,234		
1. 収益的収支	199,089	13,187	118,659	59.6%	80,430		
1. 職員給与費	194,943	12,864	116,627	59.8%	78,316		
2. 特別職(報酬、賃金等)	4,146	324	2,032	49.0%	2,114		
2. 資本的収支	30,455	2,047	20,651	67.8%	9,804		
* 職員給与費	225,398	14,911	137,278	60.9%	88,120		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	8.5%	6.8%	7.5%				
2. 全職員	9.9%	7.9%	8.9%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
A. 固定資産	39,649,660	40,035,224	385,565	
*減価償却累計額	16,199,600	16,712,744	513,144	
B. 流動資産	2,747,729	2,862,653	114,924	
1. 現金預金	2,277,801	2,334,467	56,665	
2. 未収金	320,868	274,604	△ 46,265	
3. その他	149,059	253,583	104,524	貯蔵品・前払い金等
4. 貸倒引当金	△ 500	△ 500	0	
C. 繰延勘定	0	0	0	H26年度より廃止
D. 水道事業費用	377,200	1,010,223	633,023	
1. 営業費用	0	489,269	489,269	
2. 営業外費用	0	128,092	128,092	
3. 特別損失	377,200	392,861	15,661	
1. 借方合計=A+B+C+D	45,284,940	46,957,648	1,133,512	+長期前受金収益化累計額
E. 固定負債	10,828,484	10,857,563	29,079	
1. 企業債	10,404,784	10,433,863	29,079	
2. 引当金	423,700	423,700	0	
F. 流動負債	1,086,210	466,913	△ 619,297	
1. 企業債	606,244	307,458	△ 298,786	
2. 未払金	313,626	24,046	△ 289,580	3. 未払消費税含む
3. 資本的収入整理勘定	124,923	75	△ 124,848	* H26.6から前受金のみ
4. その他流動負債	41,416	135,334	93,918	
①下水道預り金	0	0	0	
②水道料金預り金	23	13	△ 10	
③その他	41,393	135,321	93,928	* 仮受消費税他
G. 繰延収益	8,662,885	8,927,349	264,464	
1. 長期前受金	8,662,885	8,927,349	264,464	
* // 収益化累計額	2,510,352	3,049,548	539,196	
H. 資本金	5,845,462	5,863,142	17,680	
1. 自己資本金	5,845,462	5,863,142	17,680	* 固有、繰入(出資)、組入
2. 借入資本金	0	0	0	=企業債元金
J. 剰余金	2,661,799	2,661,799	0	
1. 資本剰余金	14,922	14,922	0	* 補助金、負担金、補償金、加入金等
2. 利益剰余金	2,646,878	2,646,878	0	
K. 水道事業収益	0	1,467,638	1,467,638	
1. 営業収益	0	1,444,633	1,444,633	
2. 営業外収益	0	22,310	22,310	
3. 特別利益	0	695	695	
2. 貸方合計=E+F+G+J+K	45,284,940	46,957,648	1,408,244	+減価償却累計額
a. 供給単価(円、銭)	260.89	=給水収益÷有収水量		
b. 給水原価(円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除		
①実数値	111.97	=原価算入額÷有収水量	当月予算	
②シミュレーション	227.48	原価算入額に減価償却費の「経過月数/12」を加えたもの		
c. 施設利用率	69.68%	=一日平均配水量÷施設能力		
d. 有収率	87.44%	=有収水量÷配水量		
e. 流動比率	613.10%	=流動資産÷流動負債		
f. 現金預金比率	499.98%	=現金預金÷流動負債		

* 供給単価、給水原価は損益ベースであること

平成26年 11月期 業務実績報告書(水道管理課)

一般事項

1 料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,343	243,195	242,290	242,021	905	1,174
2 調定水量	m ³	666,552	5,478,095	5,489,500	5,502,361	△ 11,405	△ 24,266
3 調定料金(税抜)	円	175,205,264	1,438,460,920	1,435,500,000	1,439,964,283	2,960,920	△ 1,503,363
4 口振加入件数	件	25,415	203,954	-	203,933	-	21

2 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
5 給水人口	人	83,107	-	83,718	△ 611
6 給水件数	件	30,213	-	30,027	186
7 開栓処理件数	件	193	2,104	1,962	142
8 閉栓処理件数	件	212	1,909	1,805	104
9 給水工事設計審査	件	51	598	652	△ 54
10 給水工事竣工検査	件	94	725	710	15
11 経年メーター交換	件	250	3,286	2,726	560
12 メーター口径変更	件	2	45	74	△ 29
13 月末停止件数	件	2	116	114	2

3 料金徴収関係

項目	A 当期末未収額	B 収納率	C 前年同期未収額	D 収納率
14 当年度分	204,186,460 円	86.81 %	159,662,427 円	87.06 %
15 過年度分	4,755,920 円	97.52 %	4,888,519 円	97.45 %
16 全体(計)	208,942,380 円	-	200,550,946 円	-

4 給水装置工事指定業者

迫町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
19	8	16	12	13	9	8	14	5	103	113	216

5 入札・契約

(左:累計 右:当月)

項目	累計 (落札件数/入札件数)		工事請負		設計業務		業務委託		物品購入		その他	
入札件数	143/147	19/19	72/76	11/11	28/28	5/5	23/23	1/1	20/20	2/2	0/0	0/0
契約締結	一般	22	6	22	6	0	0	0	0	0	0	0
	指名	79	13	34	7	25	4	6	0	14	2	0
	随契	38	7	12	5	3	1	17	1	6	0	0
	合計	139	26	68	18	28	5	23	1	20	2	0

※入札中止 当月 0件:累計 3件/入札不調 当月 0件:累計 4件/入札取消 当月 0件:累計 0件/未契約 4件

6 竣工等検査

検査種類	累計	当月件数	内容
竣工検査	25	4	・緊急遮断弁設置(米川配水池) 1件 ・布設替工事2件 ・舗装工事1件
中間検査	0	0	
合計	25	4	

7 主な行事・会議

会議名	日時	内容
市民参加の森林づくり	4日	東和町米川地区森林づくり事業
第8回水道事業連絡会議、料金徴収等管理業務委託会議	9日	業務報告、日程確認、業務打合せ、その他
第8回安全衛生委員会	13日	行事計画及び日程調整
水量会議	18日	27年度予算について
部長等連絡調整会議	20日	庁内連絡調整、事業調整、各種行事等、
給水拠点訓練(東和総合支所)	21日	給水タンク設置訓練
第8回経営分析会議	21日	経営概況、残高試算表、月報、監査復命
第8回事業調整会議	21日	部長等連絡調整会議復命、日程調整
例月出納検査	26日	月例監査
指名委員会	-日	第20回 11/6、第21回 11/13、第22回 11/25
入札	-日	11/10、11/25
緊急メールの発出	-日	漏水9、流量異常3、破損7、断水2、訓練1 計22

特記事項

1.11月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

①収益的収支

当期の給水収益(税込み)は189,222千円で、10月期に比べて2,707千円の減で、予算執行率は67.9%、対前年同月比(税抜き)では1,503千円の減、営業外収益は2,932千円で、事務手数料、補償金となっています。

当期の営業費用は64,599千円の執行で、10月期に比べて12,934の減、累計額は516,537千円、予算執行率は24.5%となっています。特別損失は、放射能検査料71千円を執行しました。

②資本的収支

当期の収入は、水道加入金が1,339千円、累計で11,804千円、予算執行率は82.3%となっています。繰越では、長沼建設工事に伴う移設補償金28,454千円を充当しました。

支出は、54,331千円で、保呂羽浄水場水質検査機器購入費に8,532千円、配給水施設整備費の布設替工事費に16,316千円、設計費に2,651千円、配水管移設設計費に2,689千円、緊急遮断弁工事費に16,471千円を執行しました。繰越では、水道1号線用地取得費に11,082千円を執行しました。

③たな卸し資産購入限度額

当期は、薬品で1,653千円、消耗品54千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 水道週間作品コンテスト表彰式

第56回水道週間作品コンテストの表彰式を11月14日に開催しました。はじめに出席者全員で記念写真を撮影、市長の挨拶のあと、受賞者全員に表彰状の授与と記念品の贈呈を行いました。その後、受賞者を代表して、作文の部で全国特選となった東和中3年の西城穂風さんが作文を朗読し、表彰式を終了しました。



*応募状況と入賞者

区分	応募状況	市		全国表彰
		表彰		
図画	小	99	8	1
	中	29	4	
作文	小	11	7	2
	中	4	4	2
習字	小	290	8	1
標語	小	601	2	
	中	96	2	
	一般	4		
計		1,134	35	6

入賞区分	学年	氏名	題名
作文・特選	東和中3年	西城穂風	「水」への感謝を忘れずに
図画・入選	石森小5年	工藤ひな	おいしい水をありがとう
習字・入選	米谷小2年	舟嶋嶺	みず
作文・入選	横山小2年	菅原桃花	げんきにしてくれる水
作文・入選	加賀野小4年	及川萌	大切な水
作文・入選	東和中2年	高井なお	きらめく「水」は命

(2) 水道指定店会議を開催

水道事業指定店会議を11月4日に開催しました。震災後に市内外の登録が増えており、現在216店が登録しています。当日は111店が参加、改めて給水装置工事業務の流れと漏水等による水道料金の減額等について説明をしました。



(3) 水道モニター・ブースター合同研修

水道モニターとブースターの研修会として、矢巾町水道サポーターとの意見交換会を11月28日に実施しました。矢巾町では、平成20年に住民と連携を目指してサポーター制度を導入、現在21名で積極的に活動しており、毎月の活動内容等を紹介いただき、その後意見交換を行いました。



(4) 女性セミナー開催

女性セミナーが11月18日に開催されました。セミナーは受講者が自主的に学習計画を立てており、今回は「水道事業について」がテーマとなりました。事業所の佐藤次長が水道事業の現状や料金の仕組み、市の人口が減少する中での水道事業の将来予測等について説明しました。

平成26年 11月期 業務実績報告書 (水道施設課)

一 般 事 項

経営分析の状況

◎配水量の状況

(単位: m³)

項 目	A 当月実績	B 実績累計	C 計画累計	D 前年累計	E 比 較	
					対計画 B-C	対前年度 B-D
総取水量	804,451	6,951,996	6,915,560	7,025,592	36,436	-73,596
総配水量	767,207	6,590,770	6,613,010	6,752,264	-22,240	-161,494
1 有効水量	724,631	5,987,913	5,952,000	6,028,383	35,913	-40,470
(1)有収水量	670,820	5,513,733	5,523,100	5,539,209	-9,367	-25,476
(2)無収水量	53,811	474,180	428,900	489,174	45,280	-14,994
2 無効水量	42,576	602,857	661,010	723,881	-58,153	-121,024
(1)漏水量	42,282	597,388	658,000	720,548	-60,612	-123,160
(2)その他無効水量	294	5,469	3,010	3,333	2,459	2,136
3 有収率	87.44	83.66	83.52	89.28	0.14	-5.62

※当月期の最大配水量は、11日(火)に記録した【26,931m³】です。

◎主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業等の状況	予 算 額 (A)		施 工 中 額 (B)		竣 工 額 (C)		残 額 (D)=A-(B+C)	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	金 額	率%
ア 取水施設整備事業	4	178,956	3	80,296	2	7,290	91,370	49%
イ 浄水施設整備事業	8	132,989	5	110,229	2	12,946	9,814	93%
ウ 配給水施設整備事業	80	1,503,028	59	812,392	34	111,963	578,673	62%
エ 繰越事業	12	274,769	1	32,915	11	238,876	2,978	98%

*注1 件数及び金額は工事+委託の合計です。

◎毎日検査

※おいしい水の条件 遊離残留塩素0.4mg/L以下

	保呂羽浄水場 F1遊離残留塩素	保呂羽浄水場水系 (測定戸数: 7)	東和町水系 (測定戸数: 4)	石越町水系 (測定戸数: 2)	大萱沢浄水場水系 (測定戸数: 1)
平均	0.66	0.40	0.42	0.40	0.42
最低	0.60	0.22	0.26	0.37	0.28
最高	0.71	0.58	0.58	0.67	0.49

◎登米水道の放射性物質測定結果

採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)		採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)	
		セシウム134	セシウム137			セシウム134	セシウム137
保呂羽浄水場	H26.11.25	<0.70	<0.60	錦織水系浄水場	H26.11.26	<0.50	<0.60
石越浄水場	H26.11.25	<0.60	<0.70	米谷水系浄水場	H26.11.26	<0.80	<0.90
大萱沢浄水場	H26.11.25	<0.70	<0.60	楼台浄水場	H26.11.26	<0.70	<0.70
米川水系浄水場	H26.11.26	<0.70	<0.60	—	—	—	—

特 記 事 項

1 米川配水池緊急遮断弁の設置工事完了

本事業は、地震等の大規模災害に対し、緊急時の給水確保を目的とし国庫補助事業の採択を受け平成20年度から実施しているものです。東日本大震災の影響で事業を一部延伸しましたが今年度で7基を完成させました。

今後は、平成27年度に東和町米谷第2配水池、平成28年度には相ノ山配水池への設置を行い、全事業を終了する予定です。

緊急遮断弁設置の経過

H20	保手配水池	H24	横山前田沢配水池
H21	北方配水池・日根牛配水池	H25	米川第1配水池
H23	石越配水池	H26	米川第2配水池



2 錦織水系浄水場ろ過施設の洗浄工事膜交換完了



8月12日付で水ing(株)と9,828千円で契約締結した錦織水系浄水場ろ過施設の洗浄工事の現地交換作業が終了しました。

本設備は、平成22年8月に整備された施設で6年目になります。ろ過膜の寿命は3年と言われており、当該設備も毎年行われている整備点検の提言を受け平成26年度事業として、4年目に更新整備を実施したものです。

3 水質検査機器(TOC)の設置完了

本水質検査機器は、水中に存在する有機物の総量を、有機物中に含まれる炭素量で示したもので「水の汚れ」を示す指標の一つとして用いられる。従来から用いられてきたBOD(生物化学的酸素要求量)やCOD(化学的酸素要求量)の消費試験に比べ、正確に測定できる方法であり、平成17年4月より水道水質基準項目に採用されている。また、有機物の多い水は渋味があると言われていました。



4 平成26年度漏水調査の実施 (注:6月から実施)

11月末現在の漏水調査の結果は累計で、(配水管41箇所、空気弁3箇所、消火栓1箇所、給水管56箇所、止水栓6箇所、メータ21箇所、宅内3箇所)131件の漏水を発見しています。

5 地震発生状況

登米市内における震度4以上の地震発生はありませんでした。